

★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:500252 1口1000円～ にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:500251 1口500円にて毎週受け付けていますご協力よろしくお願い致します。
★JOSO脱プラ基金は注文番号:500254 1口500円にて毎週受け付けていますご協力よろしくお願い致します。

2022-23年度活動テーマ 「つくと食べるでつながろう ～私たちの地産地消～」

10月28日（土）10時～14時30分

常総生協まつり開催

～皆様のご来場を心待ちにしております～

10月28日(土)開催の常総生協まつりに向けて、生協まつり実行委員会を中心に準備を進めています。

今年度は20を超える生産者の皆様の出店に加え、豚モモ丸焼き、お菓子屋さんなども復活！（詳細はチラシ裏面をご参照ください）おとなも子どもも、一緒に楽しめる、スタンプラリーで豪華商品ゲット、飲食スペースも設ける予定です。

生産者の皆さんと組合員が直接交流できる機会です。

**お友達と一緒に、家族と一緒に、
生協まつりを楽しみましょう！**

○今週商品カタログログと一緒に生協まつりのチラシを配布しています♪

チラシの設置・ポスティング、お友だちに渡す分、ポスター掲示協力頂ける組合員さんがいらっしゃいましたら、お気軽に供給担当へお申し出ください！

※後日、生協まつり特設WEBページを開設予定です。開設しましたらSNS等で配信してお知らせしていきます！



2023年10月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●

○「常総っ子応援団」ゴンタで遊ぼうin流星台プレイパーク
※毎週木曜日に外遊び活動をしています！

- ・10/7(土)守谷会場懇談会@常総生協本部
- ・10/14(土)清水農園援農交流会
- ・10/18(水)生協まつり実行委員会
- ・10/21(土)平和の集い「歴史を学ぼうー未来のために」講座
- ・10/25(水)定例理事会&生協まつり実行委員会
- ・10/28(土)生協まつり

○提携・協同・連帯企画●

- ・10/4(水)東海第二原発差止訴訟原告団世話人会
- ・10/1(日)守谷市商工会まつり
- ・10/6(金)生協NW21専務交流会
- ・10/12(木)コープ共済監査
- ・10/28(土)～29(日)光風台まつり

* 組合員さんへのお願い *

お友達の紹介をご協力おねがいします！

現在（2023年9月20日時点）の新規加入組合員数は目標450名のところ115名です。昨年9月末時点で33名の紹介加入がありましたが、今年度の紹介者数は15名と前年比46%の進捗状況です。

生協の人員体制は採用が上手く進まず、他の部署の数人が供給業務と兼任している状況です。体調不良者や、有給消化等で代走体制がほぼ毎週あるような状況で、なかなか常総生協の良さをお伝えしていく営業部門の体制がとれていないのが現状です。

○供給高アップ & 生協の未来のためにも新しい仲間が必要です。

年間の供給高の2%が新規加入組合員の利用供給高です。それ以上に増やすには広報力も必要ですが、組合員の皆さんの口コミや、紹介の力が必要です。組合員さんの紹介ご協力お願い致します！

（専務理事 伊藤）

ご紹介頂いた組合員の方には
3,000円分クーポン券プレゼント！

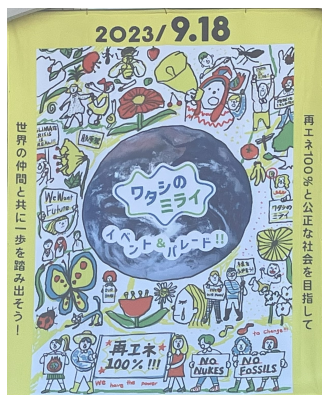


ご紹介されたお友達に
イタリアンスpaghettiセット
プレゼント

夏～秋の紹介キャンペーン♪

2023年7月10日～12月1日ご加入分まで

9/18（祝）「ワタシノミライ集会@代々木公園」にて 東海第二原発運転差し止め訴訟原告団が登壇しました



2011年の福島原発事故以降、毎年行われてきた「さようなら原発集会」は今年、3団体（①ワタシノミライ②フライデーズ・フォー・フューチャー東京③さようなら原発1000万人アクション）が共催。“再エネ100%と公正な社会を目指して”とテーマをひろげ、様々な団体が「脱原発」「気候変動対策の強化」「環境保護」「ジェンダー平等」などを訴えました。出展のテント数も倍増で、ビーガン料理の屋台が並ぶなど参加しやすい雰囲気を作られ、若者もたくさん！主催者発表ではのべ8,000人がイベント・パレードに参加したそうです。

「東海第二原発運転差し止め訴訟原告団」は、常総生協が事務局を担い、原告・賛同人として支えてくださっている組合員も多数いらっしゃいます。今回ミニステージで原告団世話人の相楽衛さんがスピーチ。2021年3月の水戸地裁一審「勝訴」判決から2年

を経て、東京高裁での第二審が今年7月に始まった報告や、現地東海村の「村議会」では今、推進派の「商工会議所」などから「再稼働のために早く避難計画を作れ」という請願が出され、私たち反対派との攻防が繰り広げられている現状が伝えられました。山田村長は推進派の動きに乗じて、9/13の村議会で「避難計画は年内策定の方針」と表明。「実効性ある事」を軽視して計画の加速を促すような態度は許せません。地元住民団体は10月にも東海村をはじめとする6市村に働きかけをするとのことでした。再稼働阻止するには裁判だけでなく住民運動との連携が大事！当事者である首都圏の皆さんの応援をお願いしました。常総生協からは、清水農園の清水さん、佐藤副理事長が壇上で生協ののぼりと「東海第2原発を廃炉に！再稼働はみとめない！」の横断幕をもってアピール。組合員で原告団共同代表の大石さんはデモパレードにかけつけてくれました。

（報告 東海第二差止訴訟事務局 木本）



今週配布の10月2回カタログ 2ページに柿の葉すし等を掲載中の生産者「吉野コスモス会 ういる工房」さんから組合員さんへのメッセージが届きました！

9月から新登場！NPO法人 吉野コスモス会(奈良県・大淀町) さんからのメッセージ

吉野コスモス会は、障がいの有無や種類に関係なく、誰もが働きがいのある仕事を持つ権利があると信じています。この信念はSDGsの目標である「ディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）」の概念とも一致しています。しかし、現実には障がいのある人たちが安定した収入を得たり、社会で認められた仕事に就くことは難しいことが少なくありません。



私たちは、障がいのある人たちがそれぞれの能力を最大限に活かせる職場環境を整え、皆が喜んで働き、自信を持ち、社会貢献できる仕事を創出するために日々努力しています。この使命を達成するためには、企業や消費者のみなさんとの連携が不可欠です。私たちは、単なる「障がい者支援事業所」ではなく、「企業と提携した生産者」として、商品の提供やサービスを通じて社会に貢献し、障がいのある人々の夢を実現するお手伝いをしています。

皆様のご協力とご支援に感謝し、これからも共に前進していきたいと考えていますので、どうかよろしくお願い申し上げます。(吉野コスモス会 ういる工房 永飯)

組合員と生産者と職員のひろば

■「鮮魚セット」待ってました！

まるとも島香さんの鮮魚の再開、とっても待っていました。いつも新鮮で楽しみにしています。(柏市・Uさん)

ありがとうございます。次回は10月3回で企画します。

ところで今年は、陸だけでなく海も気候変動に晒されています。海水温の上昇や海流の蛇行で「毎年揚がる魚」が不漁です。例えば北海道の今期の秋鮭は9/20現在で前年同月比47%減。魚だけでなく昆布の出荷量も17%減という報道です。

そんな中でも、丸友しまかの島香さんはその時獲れた魚で楽しい食卓を囲んでいただきたく、毎朝港の市場を歩き回って良い魚を捜しています。やっと、少し秋めいてきました。旬の魚で秋を感じて頂ければと思います。(水産担当横関)

■ぶどう(高尾)がバラバラでした

ぶどう(高尾)が届きましたが、実が房からほとんど取れて袋の中にバラバラになっていました。枝も枯れた状態でした。実もいたみはじめの味？(甘ずっぱい)のもありました。(取手市・Iさん)

大変申し訳ございません。産地の山形県・おきたま興農舎から、今年の産地の様子なども含めてお手紙頂きました。(農産担当柿崎)

いつもお世話になっております。またこの度は大変申し訳ございませんでした。

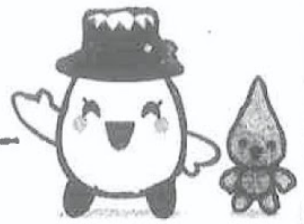
高尾ですが、味は良いのですが脱粒しやすい品種です。更に今年はここおきたま地域も高温が続き、雨も降らず水不足になっており、どの品種でも脱粒や茎が枯れたようになる状況が多発しています。

生産者も今年は特に吟味したものを箱詰めしますが、早もぎするわけにもいかず特に難しいです。こうした栽培の難しさがあるため、大勢の人が高尾の栽培をやめる理由のひとつになっています。

来年も恐らく異常気象かと思います。ただ、房から落ちて味は良い品種なので、来年に向けては2kgの房ではなく粒のパックなども提案できればと思います。なんとか、味の良い品種を無くさない様に今後も努力していきたいと思えます。(山形おきたま興農舎・中川)

2023. 9月号

あべchan.com - 白山登山編 -



以前、岐阜城へ向かう道中。金華山ローウェイの中から見えた唯一雪をかぶった白山。一瞬で白山だと分かった。あいつに11つか絶対に登ろうと決めて5年ぐらいだった。7月によく念願の白山へ行ってきた。ちなみに地獄の行程を紹介しよう。家から石川県の市ノ瀬ビッターセンターまでマイカーで579km(7時間22分)。もう地獄。そこからシャトルバスに乗って登山口まで行くのだが待っていたのは登山者の大行列。今は朝の5時30分ぐらい。この人達変態だよ。間もなく自分も変態の仲間入りを無事に果たす。シャトルバスを待つ間ただボーっとトンボを眺めていた。あまりにも暇だったので、おにぎりと行動食を完食！

結局2時間弱待ってシャトルバスに乗り登山口へ。時刻は8時前。天気は晴れ。予定より遅いけどまあ、何とかなる。登山をスタートしてすぐにある吊り橋を渡っていると、先の方で少年がこちらを向いて立ち止まっている。小学生だろうか。誰かを待っている？振り向いて見るも誰もいない。俺なのか？距離が詰まると唐突に質問してきた。「あのぉー。登山ってストック無くても出来るんですか？」少年は両手にストックを握っていた。意外な質問に面食らうも答えた。偉そうに。「ストックなんて無くても全然大丈夫。まったく問題ないよ」

「そうなんだ！僕もストック使わなくて登ってみる。」なんでそんなに真っ直ぐなんだ。登りやすい方法で登ってくれ。それが正解だ。少年と一緒に歩き両親に追いついた所で別れる。白山登山。漢字2文字で表すと「残念」。花の百名山なのに、花々は異常気象の為かいつもより早く咲き、終ってしまったようです。この日は晴れていたのに山頂付近はガスっていた。苦労して山頂まで来たのに真ッ白。こんな白山は嫌だ。ガス、ガス、ガス、ワンタフル。はー、残念だけど山小屋の所まで下りて、ひと休みしよう。そんな脳天気と考えていた。いや、山頂と同様に脳の中もガスっていたのかもしれない。この後、本当に残念なのは自分自身と気付くのであった。

10月号につづく